

家計調査から見える大阪の食生活

大阪府総務部統計課 物価・家計グループ

（「家計調査報告（家計収支編）平成24年平均速報結果の概況」は総務省統計局ホームページに掲載されています。
<http://www.stat.go.jp/data/kakei/sokuhou/nen/index.htm>）

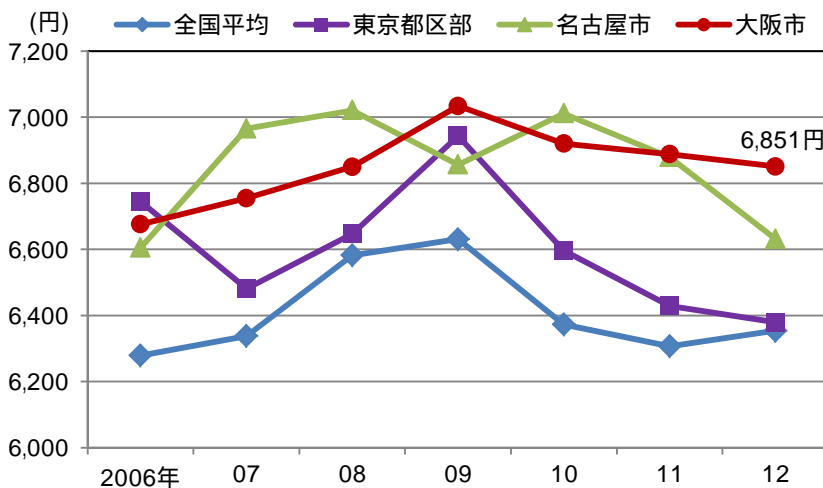
総務省統計局から「家計調査報告（家計収支編）平成24年平均速報結果の概況」が公表されました。

消費支出のうち、食料費は全体の約23%（平成24年実績）を占める最も大きな支出費目で、地域によりいろいろな特徴が見られます。

今回は、食料費（穀類、魚介類、肉類、野菜・海藻、果物、菓子類、飲料、外食費等）に対する支出を、全国、東京、名古屋と比較して大阪の特徴を探ってみました。

1 穀類への消費支出

穀類消費金額の推移（月額）



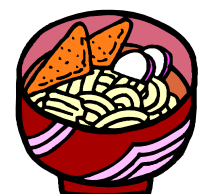
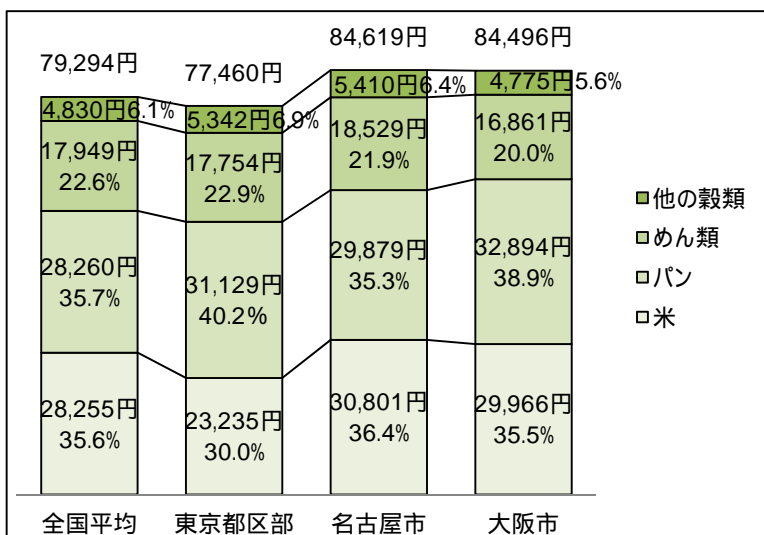
主食である穀類の消費金額をみると大阪市は、東京都区部や全国平均より月額500円程度多くなっています。

品目別全国ランキング（H22～H24平均）でも、穀類消費金額は、名古屋市第9位、大阪市第10位、東京都区部第23位となっており、全国的に見ても、大阪市は穀類消費が多いことがわかります。

穀類の内訳（米、パン、めん類、他の穀類）を左のグラフで見ると、米の消費は、東京都区部が最も少なく、全国平均と比べても年額5,000円程度少なくなっています。

一方、パンの消費は大阪市が最も多く、全国平均と比べても年額4,600円程度多くなっています。また、大阪人は「うどん好き」と思われがちですが、大阪市の「めん類」は全国平均、東京都区部、名古屋市のいずれと比べても少ないことがわかります。

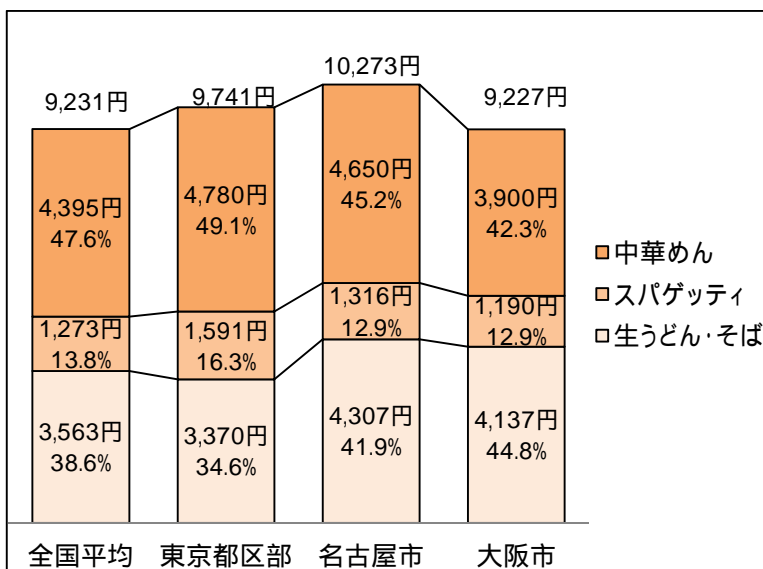
穀類の消費内訳（年額）



めん類消費の内訳を「生うどん・そば」「スパゲッティ」「中華めん」の3種類で比較してみると、「生うどん・そば」の消費金額は、名古屋市が最も多く「中華めん」や「スパゲッティ」では東京都区部が多くなっています。

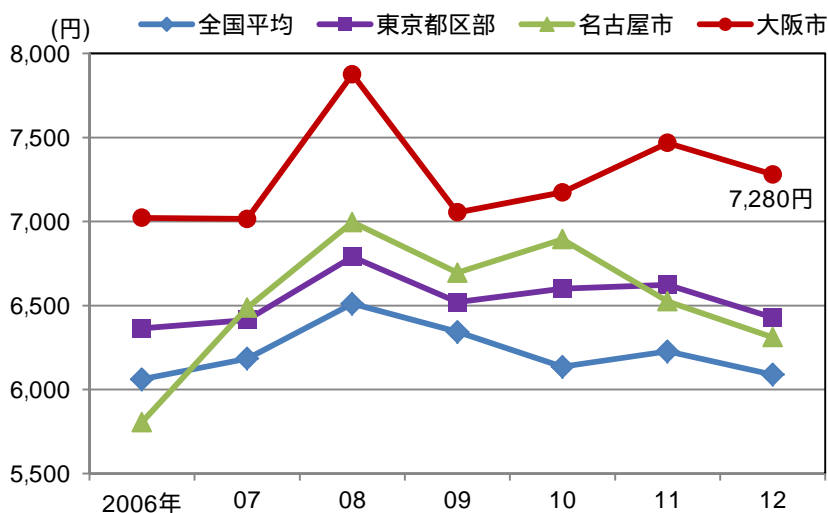
一方、めんの種類別に支出割合をみると、全国平均、東京都区部、名古屋市ともに「中華めん」に対する支出が最も多くなっていますが、大阪市では、「生うどん・そば」に対する支出割合が多く、めん類の中では「生うどん・そば」が比較的好まれていることがうかがえます。

めん類の消費内訳(年額)



2 肉類への消費支出

肉類消費金額の推移(月額)

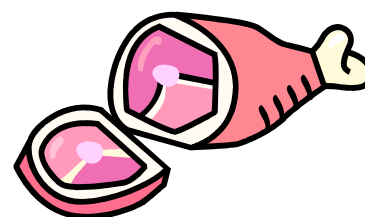
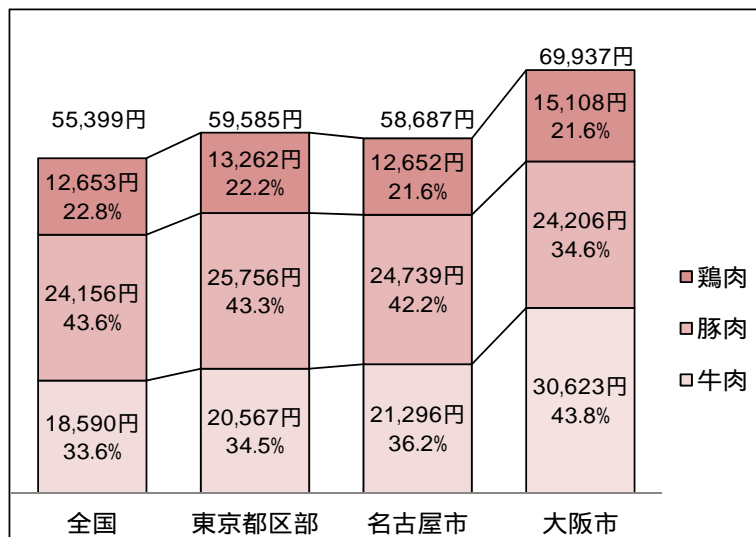


大阪市の肉類の消費金額は、東京都区部、名古屋市と比べ月額1,000円程度多く、大阪人の肉好きがよく分かります。品目別全国ランキングでも、大阪市は第7位、名古屋市は第15位、東京都区部は第17位となっています。

一般に、関西は牛肉文化、関東は豚肉文化と言われますが、肉類を牛肉、豚肉、鶏肉に分けて調べてみると、大阪市は、牛肉への支出金額・支出割合ともズバ抜けて多く、鶏肉や豚肉への支出金額も全国平均を上回っています。

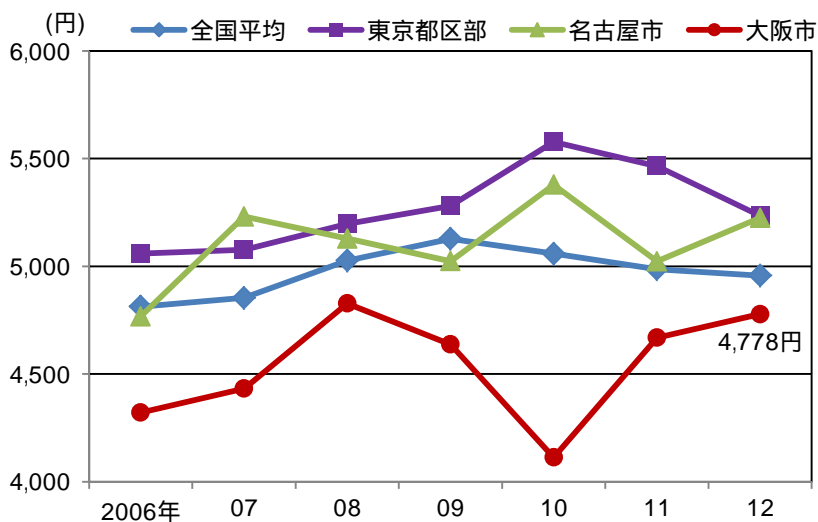
このことから、大阪人は牛肉も豚肉も鶏肉も含めて肉類の消費が多く、肉食系であることがうかがえます。

肉類の消費内訳(年額)



3 菓子類への消費支出

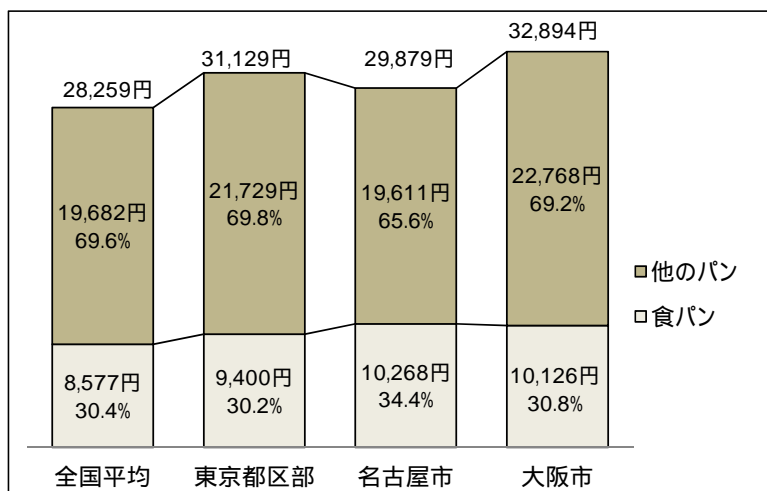
菓子類消費金額の推移(月額)



大阪市の菓子類の消費金額は、ここ数年の傾向として、東京都区部と比べ月額 500 円～1,500 円程度少なくなっています。また、品目別全国ランキングでも、大阪市の菓子類の消費は、全国 51 都市中第 49 位となっており、お菓子の消費が少なくなっています。

大阪の人が甘いものを好まないとはあまり聞きませんが、大阪市の菓子類への支出が少ないのはなぜなのでしょう。

パン類の消費内訳(年額)



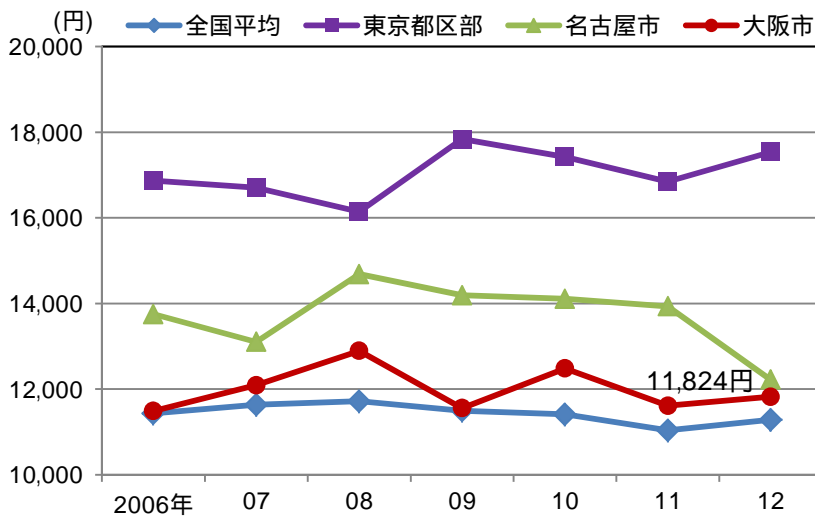
穀類のところで、大阪市のパンの消費が全国平均と比べて多いとお話しましたが、パンの種類別に内訳をみると、大阪市の食パンへの支出金額が全国平均と比べて年額 1,500 円程度、「他のパン」への支出金額で年額 3,000 円程度多くなっています。この「他のパン」には、あんパン、ジャムパン、カレーパンなどのいわゆる菓子パンが含まれており、大阪市の菓子類の消費金額が少ないのは、菓子パン等の「他のパン」の消費が多いことが理由のひとつだと思われます。

「大阪人にとっては、菓子パンもおやつの一つ」ということでしょうか・・・。



4 外食費への消費支出

外食費消費金額の推移(月額)



大阪市の外食費の消費金額は、全国平均とほぼ同じレベルであり、東京都区部、名古屋市と比較すると、支出金額が少ないことが分かります。

一方、スーパーや小売店等で購入する調理食品を品目別全国ランキングで見ると、すし(第17位、年額13,175円)、サラダ(第4位、年額4,273円)、うなぎのかば焼き(第3位、年額4,001円)、ぎょうざ(第9位、年額2,441円)、コロッケ(第10位、

年額2,249円)となっており、外食費への支出をおさえ、調理食品等をうまく活用して家食を楽しむ大阪人の食生活を垣間見ることができます。

こうしたことから、大阪人は、ラーメンやスパゲッティよりは、「うどん・そば」を好み、おやつ代わりに「菓子パン」を食べ、全国的にみてもかなりの肉食を好む傾向がうかがえます。また、外食はあまり行わず、家食を楽しむ食生活を送っていると見ることができるのではないのでしょうか。

大阪の豚肉消費

大阪で「肉」といえば、「牛肉」を思い浮かべる人が多いと思います。

東京では豚肉を用いることが多い「すき焼き」や「肉じゃが」、「カレー」も大阪では牛肉です。最近は「豚しゃぶ」も増えてきましたが、大阪で「しゃぶしゃぶ」といえば、やっぱり牛肉です。

一方、横浜や神戸の「中華まん」は大阪では豚肉をたっぷり入れた「豚まん」になります。さらに、大阪人の大好きな「お好み焼き」、「焼きそば」も豚肉がいっぱいです。もちろん「鍋」にも豚肉が入っています。また、「ビフカツ」よりも大阪では何と言っても「豚カツ」ですよね。

こうしてみると、大阪の人は牛肉だけでなく豚肉も意外とたくさん食べていたのですね。

